

子どもスポーツフェスティバル行われる 新種目にとまどいながら・・・ でも！ 楽しかったよ！

11月3日文化の日、恒例の「子どもスポーツフェスティバル」が実施されました。本年も新型コロナウイルス感染症のため、残念ながら地区運動会など行事は軒並み中止となりました。

そうした中で個人参加の行事である「子どもスポーツフェスティバル」をコロナ感染防止対策を徹底しながら実施することになりました。

お天気の特異日とも言われる文化の日ですが、今回もコロナより熱中症に注意しなければというほどの好天に恵まれる中、昨年までとは異なり記録にとらわれず、ニュースポーツを体験して楽しもうというコンセプトで4種類のニュースポーツと、おなじみの「くつ飛ばし」など8種目にトライしました。段上小学校の児童170名余の参加者と、報徳学園高等学校ラグビー部員20名余やスタッフのみなさんを加え、ともども楽しい時間を過ごしました。ラグビー部員のみなさん、お手伝いのスタッフのみなさん暑い中本当にありがとうございました。今後、ニュースポーツは折をみて取り組んでいきたいと思っておりますので、その時は地域のみなさんにもたくさん参加していただくようお願い申し上げます。みなさんお疲れさまでした。

今回実施したニュースポーツの紹介

囲碁ボール

囲碁ボールは兵庫県丹波市柏原町で考案され、2006年の兵庫国体ではデモンストレーション行事の一つとして行われました。専用マットに縦横7本の線で碁盤の目が描かれ、その交点49目がくぼみになりボールが収まる。対戦チームが黒・白のボールをチーム交互にスティックで打ち5目並べを行うものです。

アキュラシー

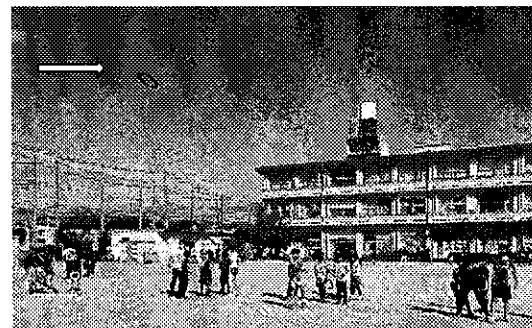
アキュラシーとはフライングディスクコントロールの正確さを競う競技です。ゴールをめがけて、正面、左右方向の7カ所から各4投します。競技時間内に合計28投を行い、ゴールの通過数を競います。世界大会や日本選手権大会なども行われています。

スカイクロス

スカイクロスは京都で誕生したもので、布製のリング状ディスクを目標コーンめがけて投げていくもので、ゴルフなどと同様に点数の低い方が勝ちとなります。競技内容もいろいろあって、老若男女誰でも楽しめるスポーツです。

モルック

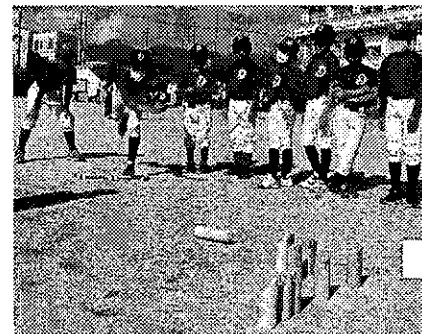
モルックはフィンランド発祥の誰でもできるスポーツで12本の木製ピン(スキttl)に向かって、同じく木製のピン(モルック)を投げて倒すスポーツです。2人以上のプレイヤーが交互にモルックを投げ、スキttlを倒します。最初のプレイヤーが、隙間なく配置されたスキttlにモルックを投げてゲーム開始です。倒れた本数や1本の場合は描かれた数字を加算して丁度50点で上がりです。50点を越えた場合は25点に戻って続けます。もしプレイヤーが3回続けてミスした場合はそのプレイヤーはゲームから外れます。



フェスティバルの観



スカイクロス



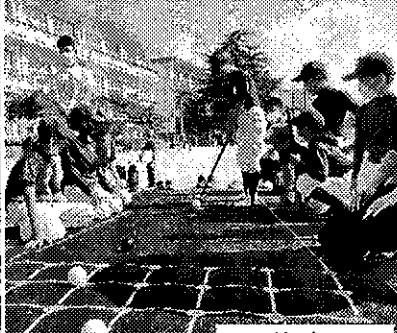
モルック



バスケット



和太鼓



囲碁ボール



くつ飛ばし



G・ゴルフ

